

FAにおけるオープン化の推進（FAオープン推進協議会）

事業概要

継続

製造業オープン化

事業略称	FAOP	期間	1996～	予算元	メンバー会費	事業形態	任意
概要	FAオープン推進協議会(FA Open Systems Promotion Forum : FAOP)は、生産におけるデータ交換・設計・管理・制御などの情報プロセスを「これからのものづくり」環境に適合させるために、製造設備のコントローラ・製造情報・データ表現から生産システム全体の構造に至る多くの側面で、オープンアーキテクチャに基づくニューテクノロジーの開発を推進し共通基盤技術の確立を目指す。2022年度より「製造業向け分散連携システム」の関連の国際標準活動と連携している。						
ゴール	生産・製造に必要な様々な情報プロセス(設計・管理・制御・データ交換)と日本流の製造技術を新しいICT環境と連携させるオープンな共通基盤技術を確立し、日本のものづくりを支援する。						

2023年度 計画(左)／活動報告(右)〔予算：1.7百万円／決算：1.9百万円〕

運営委員会1回(5月)・企画部会7回開催	運営委員会1回(6月)・企画部会8回開催(4,5,7,8,10,12,2,3月)
「製造業DX化ビジョン専門委員会」、「生産システム連携手法研究会」、「FAセキュリティモデル研究会」、「自律的生産スケジューリング研究会」の調査活動を継続	「生産システム連携手法研究会」、「FAセキュリティモデル研究会」、「自律的生産スケジューリング研究会」の調査活動を継続、「製造業DX化ビジョン専門委員会」は休止
専門委員会/「製造業DX化ビジョン専門委員会」研究会活動をベースにセミナーを開催	自律的生産スケジューリング研究会セミナーを開催(1/16)
見学会：新型コロナの状況を見ながら検討	産業技術総合研究所 インダストリアルCPS研究センターの見学会を実施(10/20)
上記「生産システム連携手法研究会」の成果を用い、「製造業向け分散連携システムのプロトコルとメッセージ」をISOにてNPの規格化を推進	上記「生産システム連携手法研究会」の成果を用い、「製造業向け分散連携システムのプロトコルとメッセージ」の規格化に向け、ISOにてNP提案を推進中

FAにおけるオープン化の推進（FAオープン推進協議会）

2023年度成果

■ 成果

➤ 2021年度に開始した、継続の3研究会で調査活動中

- 生産システム連携手法研究会：7企業、1団体
「委託－受託関係」に基づいた二者間のサービスの授受を単位としたその連鎖による製造ソフトウェアシステム間の連携をすることで、簡単・安価で柔軟な協力ネットワーク構築方法を提供し、分散型の業務連携のためのシステム間の共通手順及び交換する情報のガイドラインを規定
：ISO/TC184/SC5/WG4にNP再提案推進

- FAセキュリティモデル研究会：7企業、1大学
 - ・IPA「スマート工場のセキュリティリスク分析調査」を基にした実装モデルの検討
 - ・Factory I/O(3Dシミュレータ)によるサイバー攻撃検討

- 自律的生産スケジューリング研究会：6企業、2大学
 - ・市販シミュレータを用いたスケジューリングの可視化を検討中、下記セミナーを企画
- なお、「製造業DX化ビジョン専門委員会」については、委員長退任につき休止

- 産業技術総合研究所見学会(10/20)を実施
- 自律的生産スケジューリング研究会セミナーを開催(1/16)

